

令和6年度第2回岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会（議事録）

- 1 期 日 令和6年7月12日（金）
- 2 開催時間 9:00～16:30
- 3 開催場所 高山市教育研究所 多目的室
- 4 参 加 者 飛騨地区採択協議会委員 21名
飛騨地区採択協議会事務局（高山市教育委員会学校教育課職員）1名
各教科研究員報告者 20名
司会：事務局 説明：事務局 協議進行：会長

5 議 事 録

司 会	□本日は、御多用の中、お集まりいただき、ありがとうございます。司会は事務局の高山市教育委員会が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。本協議会は机上に配付しました資料1ページの「飛騨地区採択協議会規約」に基づき、運営をいたします。
司 会	□はじめに、開会の言葉を、飛騨地区採択協議会副会長 中村好一下呂市教育長様よりいただきます。
副会長	□では皆さんおはようございます。本日は本当に足元の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。これから、飛騨地区の調査員が一生懸命、選定についてまとめたこと話をされます。どうか今日は、少し皆さん、中学生になっていただいて、こんな教科書を使いたいなと思いながら、話をまとめていただければありがたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。これより第2回、飛騨地区採択協議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
司 会	【飛騨地区採択協議会会長あいさつ】 □続きまして、飛騨地区採択協議会会長 見山政克高山市教育長がご挨拶いたします。
会 長	□改めまして、おはようございます。本当にお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。子どもたちの教科書を承認、選定しますので、どうか飛騨の教育のために力をお貸しいただきたいと思います。今日は、それぞれの立場でもわかっていることだと思うんですが、確認をさせていただきます。大きく二つあります。一つは、来年度の小学校における教科用図書の、現在も使用しているものに基づきながら、再度選定と承認をしていただきます。それから二つ目は、今年度は飛騨地区中学校の採択の年になりますので、今日は、これまで54人の研究員が、調査を進めていただきましたので、その結果の報告を聞いていただきながら、また、皆様には、選定と承認をしていただきたいというふうに思っておりますので、どうか終日の会議となりますが、よろしくお願いいたします。以上です。
司 会	□ありがとうございました。なお、本日の会は、資料1ページの規約第10条が示しております、会議の成立に必要な半数以上の委員に出席いただいておりますので、協

	議会が成立していることをご報告いたします。今回の議事録は、9月1日より公表の対象となっております。議事録は飛騨市、下呂市教育委員会事務局の方でお願いいたします。それではこれより協議に移ります。協議の進行を協議会会長にお願いいたします。
会 長	□ではよろしく申し上げます。まず、令和7年に飛騨地区の小学校で使用する教科書を、選定、承認したいと思います。庶務から説明をお願いします。
事務局	□第1回の協議会でご説明しましたように、4年間は同じ教科書を使用するように、法令で定められております。 協議会資料4ページをご覧ください。昨年度採択となった小学校の教科書一覧が載せてあります。それぞれの教科書を使用することに問題はなく、特別な意見がなければ、この選定案で承認をお願いいたします。
会 長	□小学校使用教科書の選定案について、何かご質問ありませんか。（意見無し） では、この小学校の決定案を飛騨地区の選定教科書とすることに、承認いただける方は挙手をお願いいたします。（全員挙手）ありがとうございます。 ではこの一覧のものを、令和7年度に、飛騨地区における小学校の検定教科書とします。 それでは次の協議に入らせていただきます。事務局に、協議を進め方についての説明をお願いします。
事務局	□では失礼いたします。今日までに、終日3回の研究委員会をここ教育研究所で開催し、54名の研究員が各発行者の教科書について、調査、研究、本日の報告準備などを行いました。調査研究については、この3回の研究委員会の中だけでは行いきれません。よって、各研究員が学校の勤務時間以外の時間に自宅などの静室な環境の中で、多くの時間を費やして、熱心に調査研究を行いました。調査研究にあたっては、まず、種目ごとに、飛騨地区の生徒の学力の実態を明確にし、今後の指導にあたっての重点を見定めました。次に、こういった点から教科書を調査研究する着眼点と、調査研究の方法について明確にしました。この着眼点と、調査研究の方法に従って、すべての発行者の教科書について、多くの時間を費やし、調査研究を行いました。調査研究の対象となった教科書一覧は、採択協議会資料の5ページに一覧として載っておりますので、ご覧ください。 そして、そのすべてについて意見書を作成しました。例えば、数学で言えば、7者の教科書について調査研究を行い、7つの意見書を作成しています。この意見書は、9月1日より公表いたします。 これより、表紙の日程で、各種目ごとに、研究員のリーダーより、調査研究結果の報告を行います。報告では、着眼点から見たすべての発行者のよさを報告した上で、中でも評価が高かった発行者についてさらに詳しく報告をし、最終的に選定案を提示します。ただし、委員の皆様には、すべての発行者の中から連携する教科書を選んでいただくことができますので、申し添えさせていただきます。 報告の後、質疑応答の時間を十分取りますので、協議員の皆様には、飛騨の生徒たちのために、積極的な発言をお願いいたします。第1回の協議会と同じように、本日も皆様にすべての教科書を見ていただけるように、後程、机上に順次、教科書を

	配付します。また、休み時間にも閲覧していただけるよう、隣の教育資料室にも整えておりますので、多くの委員さん方には、今日までに教科書展示会等でご覧いただいているとは思いますが、こちらの方も目を通していただけるとありがたいです。これからの報告の中では、実際の教科書、あちらにあります、実物投影機でお示しして説明しますが、説明中や質疑応答の合間に、お近くの教科書を手にとってご覧いただいたり、休憩時間などにもご覧いただけるなど、お願いいたします。 なお、お手元には、飛騨地区7ヶ所で開催した教科書展示会で寄せられた意見書の冊子資料4がございます。この後の種目別協議では、研究委員会の調査研究結果とあわせて、一般の皆様のご意見も考慮して、協議していただくようお願いいたします。それではこの後、教科書搬入、次の発表の準備に移らせていただきますので、しばらくお時間をください。
会 長	□何かこの説明に関してご質問ありますか。（意見なし） よろしいですか？それではこれから調査研究結果の報告と採択案のところを進めていきます。各教科の研究結果の報告を受けた後に、種目ごと、つまり教科ごとに選定教科書として議決していきますのでよろしくお願いします。最初に国語の調査研究結果について報告をお願いします。
国語 研究員代表	◇報告 国語科の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったA者（東京書籍）とC者（光村図書）について詳しく説明。
会 長	□ただいま、国語の調査研究結果報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問、ご意見はございませんか。
委員 1	□説明いただいた中で、特に学習状況を自分で評価しつつ、自分から学習を進める観点で見ていたところ、C者の方が、常にどの場面に入っていくって学習を進めるのかということがよく伝わる内容だというふうに捉えることができました。
会 長	□ありがとうございます。その他ございませんか。
委員 2	□今、タブレットがたくさんあるので、この「言葉の力」とかありましたよね、この使い勝手、これについて、調査、研究、報告することはありますか。
研究員	□実際にこの二次元コードを読み取って比較しようと思ったんですが、余りにもリンク先というか、さらにこのページに行ってくださいというので、比較が難しかったのは事実です。結果としては、すべて二次元コードの先については見ておりません。ただ、学習理解を深めるために、ここで必要だなと思われるところに二次元コードがあるというのは、工夫されていたところだと思います。
会 長	□最後に、委員 3
委員 3	□自分で授業をされていて、特に書く活動をしているときに、語彙を広げるために、今、C者で紹介されたような「語彙ブック」のようなものが中学校にもあるといいなと常々思っていましたので、そういったものがあるということをお聞きして、とても授業がやりやすくなるし、子どもにとっても非常にいいなと思いました。
会 長	□ありがとうございます。 □それでは、国語においては、研究員の調査報告どおり、C者の光村図書を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手願います。

	(挙手により全員挙手で承認を確認) □それでは、国語はC者（光村図書）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では、引き続き、次の書写の調査研究結果について報告願います。
書写 研究員代表	◇報告 書写の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かったB者（三省堂）とC者（光村図書）について詳しく説明。
会 長	□ただいま、書写の調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問ご意見はございませんでしょうか。委員1。
委員1	□飛騨地区の子どもの実態として、書体の違いの効果、理解が十分でないということと、実際の生活場面をつなげてというところに課題があるというふうにおっしゃっていました。その点で、今ご説明いただいた2者を比較してみましたところ、例えば職業ガイドを作ろうですとか、行書を活用しようというところで、様々な書体の効果を味わったり、多様な生活の場面と繋がるような教材が工夫されていると感じましたので、C者の書写の教科書が工夫されてるなと感じました。
委員2	□他に、ご質問ご意見ございませんでしょうか。
委員3	□私も中学生だったらというつもりで聞いておりました。授業内にとどまらず、職業ガイドなど、チャレンジしてみたいという気持ちになりましたので、C者の方でいいのではないかと思います。
会 長	□委員3
委員3	□今のところで、他教科と、特に総合的な学習の関連でいくと、資料編の8ページと、C者は関連付けている。B者は、系統性が工夫されている。これ、どちらかというと、系統性が示されているの方が、結構そちらの方がいいのかなという印象を受けてしまうので、これって、両方とも、関連付けているとか系統性ではないのかな。そこはどうでしょう。簡単に言えば関連付けていると系統性が工夫されているっていうのは、系統が工夫されているの方が、どちらかというと得点評価が高くなるような気がするんですが、総合的に言えばC者だと思うんですが、その部分の説明を少しお願いします。
研究員	□一覧表で4者を比較したときに、評価としては、示したところが、どこも同じ評価というふうに、私たちは分析しました。 今おっしゃった系統性と関連付けてというのは、C者の方は、総合的な学習だけでなく、国語科、国語種目の内容と親和しているところが多々見られました。明確な区別というのはそれ以外にはないんですが、あえて区別するとしたら、先ほど申し上げたように、国語との関連性と、それから総合的な学習との関連性が、親和性が強いのはC者ですし、それから、系統性、1・2・3年生の中での継続性とか、総合的な学習の関わりについては、B者も良い評価というふうに考えました。大きな差はないというふうに考えて捉えております。
会 長	□その他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。委員4。
委員4	□保護者の目線から見させていただいたんですが、子どもたちがこの教科書を使うと

会 長	きに、C 者だと国語科との関連性がとれるというところがありますけど、学びのカギという言葉が書写にも出てくるので、国語という点で見ると、どちらも一貫性があっていいかなと感じました。 ☐ありがとうございました。 ☐それでは、書写においては、研究員の調査報告どおり、C 者の光村図書を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手をお願いします。（挙手により全員挙手で承認を確認） ☐ありがとうございました。それでは、国語はC 者（光村図書）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 ☐では、次の地理の調査研究結果について報告に移ります。準備をお願いします。
地理 研究員代表	◇報告 社会の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かった者 A 者（東京書籍）と C 者（帝国書院）について詳しく説明。
会 長 委員 1	☐ただいま、地理の調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。委員 1。 ☐非常にわかりやすい説明をありがとうございます。 私、二つ着目させていただいたんですけれども、一つは、A 者の中で、世界旅行を企画しようというページをご紹介いただきました。こちらはパフォーマンス課題ということも言えまして、何ができるようになるかということに大事にした、学習指導要領の中でも大事にされている内容だと思います。こういうふうになんかことをやれるようになるのかということの思い描きながら、子どもたちが学びを進められるという点で、優れているなと思いました。もう一点ですけれども、こちらは意見書の方にありますけれども、二次元コードの数を比べたところ、A 者は 138 個、C 者の方は 85 個ということで、圧倒的に二次元コードが多い。個別最適な学びという点でいきますと、自分で求めていくことがたくさんあるという点で優れているなと思いました。
会 長 委員 2	☐ありがとうございました。その他にございませんでしょうか。委員 2。 ☐4 者を見たときに、C 者と A 者は、資料の色、写真も含めて、色使いが鮮やかでとてもパツと見たときにいいなっていう感じを受けましたし、特に A 者のみんなでチャレンジというところについては、主体的というところで、知識理解で得たことを、さらに社会と世界の情勢と関連付けて、こういうことを学んでいくといいよということが、自分でも取り組んでいける内容になっています。これをもとに、中学生がもっとさらに自分ももっとこういうことが学びたいという課題を持つような設定になったことが、主体的で深い学びに繋がっていくというような教科書になっているという感じを受けました。
会 長 委員 3	☐その他にございませんでしょうか。委員 3。 ☐委員 2 のお話に付け足しでございます。みんなでチャレンジ。最初は個人でやるんですね。学習全体が終わったあと個人でやったあとみんなで話し合うという展開になっている。いきなりみんなじゃなくて、一人一人意見を持って、考えを持ってと

会 長 委員 4	いう展開もいいなと思いました。 ☐ありがとうございました。その他、よろしかったでしょうか。委員 4 ☐子どもの実態として考え統合する、思考力のところに弱さがあるということでした。それで、その点について章末、単元末の点でこのような違いがあるということでお示しいただきましたが、単位時間ごとの思考力の育成については、何か明確な違いがありましたか。
研究員	☐C 者も、それから、A 者も、単位時間ごとの課題というものは示してありますし、まとめということも示してあるので、大きく違いということはなく、そういったことに関しましては、両方ともよく考えられた教科書になっているなということは捉えております。
会 長	☐お時間も来ておりますので、以上で質疑を終わります。 ☐ありがとうございました。それでは、地理においては、研究員の調査報告どおり、A 者の東京書籍を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手をお願いします。（挙手により全員挙手で承認を確認） ☐ありがとうございました。それでは、地理はA 者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 ☐では、次の歴史の調査研究結果について報告に移ります。準備をお願いします。
歴 史 研究員代表	◇報告 社会の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。その後評価の高かったA 者（東京書籍）とC 者（帝国書院）について詳しく説明。
会 長 委員 1	☐ただいま、歴史につきまして、調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はございませんでしょうか。委員 1。 ☐A 者のスキルアップというコーナーは、資料活用能力を高めるということも、深い学びについても効果的だなと思うんですけども、先ほど、その一つを示していただきましたが、とても効果的だと思うので、スキルアップの各項目を一覧にしたものとか、まとめたページとかの資料はあるのでしょうか。
研究員	☐巻頭の方に紹介があるということで、7 ページの上側に、ピックアップということで、項目としては載っているということになっています。
委員 1	☐そこだけの学習で活用するだけではなくて、より、戻ったり既習の学習を確認したりするということが非常に効果的だなと思います。
会 長	☐ありがとうございました。他に、せっかくの機会ですので、感想で結構ですので、委員 2、いかがでしょうか。
委員 2	☐思考ツールが充実しているということと、スキルアップ資料も豊富でとてもいいなと思います。そこで思考力がついたり判断力がついたりするということで、子どもたちがこれを学んで、思考力がつくというのはよくわかるのですが、判断力というのは、こういった場面なのか、歴史的な判断力ということで、いろいろあると思いますが、教えていただきたいと思います。
研究員	☐生徒の実態から、思考・判断・表現ということができるところを重視して、教科書の研究を進めてまいりました。今、委員さんが言われたように、思考ツールが東京書

会 長 委員 3 会 長 委員 4 会 長	籍には多く載っていて、それを使って思考する。そして、それぞれ、納得解といいますか、答えということではなくて、納得する解をそれぞれの自分の思考した中で、あるいは仲間と協働的な学びをした中において納得解を得ていくと、例えばなぜそう起こったのかというようなことに関しては、なかなか正解というものは導き出せない、形態になればなるほど導き出せないというところもありますし、昔のことに關しても、どうしてこういう政治を行ったのかというちょっと難しいっていうことに關しても、答えっていうのは、やはりなかなか導き出せないんだけど、時代的背景や人物同士の関わりや、そういったことを思考することによって、自分なりの、納得解を見つけていくということが一つの判断になると思います。あるいは未来に向けて、やはり自分はこう生きていくんだということも、地理でも歴史でも公民でも、自分が判断、学んだことによって判断して行動していくということをする力をつけていきたいと考えています。 □よろしいですか。最後に、委員 3、何かありますでしょうか。 □はい。歴史の教科に限らず、毎年新しく分かったことが政治ニュースでも発表されていて、教科書に載っていることからさらに進んだことがわかってきている今の時代だと思うんですけども、情報が新しく更新されていくことを、それぞれの子どもが上手に選択して、納得解という、自分の中で探していけるような内容で、教科書で学べるといいなと思いました。 □委員 4 □意見をお願いします。意見書も添付されていて、特に歴史のことに關しては、保護者とかいろんな方が見られて、いろんな意見をされていて大変なことなんだと思いますが、歴史っていろんな人の考えがあったり、今回の候補に上がっている A 者を読ませてもらうと、インターネットで調べようというところで、いろんな意見があるから正しく選択しようねということが書いてあるので、他の教科書にもあると思いますけど、最低限そういったことが書かれてある教科書を選んでもらってよかったなと思いますし、個人的に、僕らの時は年表のようなものがなかった教科書だったと思うので、これはすごく見やすいなと思ったのでいいなと思いました。 □意見も尽きたようですので、以上で質疑を終わります。 □ありがとうございました。それでは、歴史においては、研究員の調査報告どおり、A 者の東京書籍を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手をお願いします。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございました。それでは、歴史は A 者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では、次の公民の調査研究結果について報告に移ります。準備をお願いします。
公民 研究員代表	◇報告 社会の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後評価の高かった A 者（東京書籍）、B 者（教育出版）について詳しく説明。

会 長	□ただいま、公民の調査研究、結果報告をいただきましたが、委員の皆様、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。委員 1。
委員 1	□2 者を比べてみました。授業が終わってからさらに学び続けたいか、そして学びやすいかという視点で見たところ、両者ともまとめるというところについては、さほど差異がなかったように感じます。ただ、そのあとの深めるという視点やさらに学び続けるという視点でいくと、A 者の方がさらに深めやすさがあったのではないかと思います。
会 長	□ありがとうございます。委員 2。
委員 2	□A 者のみんなでチャレンジは、登場するキャラクターが対話をするというような場面がありまして、より一層、生徒が対話のイメージが持てるようになっていたと思いました。
会 長	□ありがとうございます。委員 3。
委員 3	□課題をとらえているところが A 者にはあると感じました。身近であるということですね。18 歳と 20 歳の違いを、図や表で的確にまとめられているなど感じました。
会 長	□ありがとうございます。委員 4。
委員 4	□これからの授業というのは、子どもがどう学んでいくかということが大事で、学び方は大事ななと思いました。A 者のみんなでチャレンジの中にはそういう要素がある、これは子どもだけでなく、先生もどんなふうにして学ばせるのかということについてヒントを与えられることがたくさんあってとてもいいなと、今の子どもたちの課題を追求する方法ということで、大事なことだなというふうに思いました。
会 長	□ありがとうございます。最後に、委員 5。
委員 5	□先ほど、子どもの目線で考えた方がいいという話があったので、子どもの目線で言いますと、どの教科書も見やすく学びやすいんだろうなと。先生方の視線で考えるとどうなのかなという部分で、先生方もやはり、子どもと一緒に教える側と言いながらも学ばなければならない部分もあって、どの教科書も甲乙つけ難い教科書だなと感じました。
会 長	□本当に、子どもの目線で考えていただければいいと思いますので、貴重なご意見をありがとうございました。 □それでは、他にご意見は無いようですので、承認をとります。公民においては、研究員の調査報告どおり、A 者の東京書籍を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手をお願いします。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございます。それでは、公民は A 者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では、次の地図の調査研究結果について報告に移ります。準備をお願いします。
地図 研究員代表	◇報告 社会の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づき、A 者（東京書籍）、B 者（帝国書院）について詳しく説明。
会 長	□ありがとうございます。ただいま、地図の調査研究結果の報告をいただきました

委員 1	が、委員の皆様、何かご質問ご意見はございませんでしょうか。では、委員 1。 □私たちの頃は、地図を見ていてもただ地図を眺めるだけの様な感じていたかなと思うと、こうやって SDGs のこととか、そうしたことを教えてくれながら地図が見られるというのは、学びを深めていくというか、自分で調べたくなる、知りたくなるというような感じがしました。B 者と A 者のどちらがいいかということは、どちらもいいのかなと聞いてて思うと、何でこっちになったのかということ、もう一度考えなければならぬと思いました。
会 長 委員 2	□ありがとうございます。委員 2。 □A 者の方は、本当に子どもになった気持ちで考えると、印刷のカラーの発色からしても、色だけじゃないと思うんですけど、見たくなるというか、そういったことを思います。また、先ほどおっしゃられたみたいに SDGs も含めて、多様な視点、多様な資料で構成されていて、もう、ずっといろいろページめくりながら見たくなる、もっともっと調べたいというワクワク感を感じ、比べてみると、A 者からそうした点を強く感じました。
会 長 委員 3	□ありがとうございました。委員 3。 □地図帳だけで情報がすごいなと思いました。1 ページを眺めるだけでも、自分も子どもたちも、いろんな情報とか、もっと調べたいという意欲が湧いてくると思いました。
会 長 委員 4	□ありがとうございました。委員 4。 □教科書との整合性というか、その辺りは、教える側の教師の方からと子どもたちからではどうでしょうか。
研究員	□今、地理、歴史、公民と A 者を採択していただいたわけですが、地図帳は B 者の方を我々は選ばせていただきました。なかなか甲乙つけ難いところもあるんですけど、B 者の方が学年相互間の関連性や系統性、あるいは主体的対話的で深い学びの視点から見たときに、使いやすいといえますか、そういったことで活用しやすいというふうに捉えましたので、先ほどありましたように甲乙つけ難いんですけども、また、採択した教科書との関連性もあるかと思いますが、B 者の方が今言った二つの点で、我々は扱いやすいということで選ばせていただきました。
会 長 委員 5	□よろしかったでしょうか。委員 5。 □教える側で例えば社会を教えていて地図帳を開いてくださってなった時に、会社が違うとやりにくいことはないのでしょうか。いろんな準備とか、手間があると思うんですけど、教科書が同じ方が、扱いやすいと思ったんですが。
研究員	□これまでも、長い間使われることが多くて、小学校でも使った時期もありますけども、今まで我々が、もちろん授業中に活用していて使いにくかったということはないというふうに感じています。
会 長 委員 6	□ありがとうございました。委員 6。 □本当にデリケートな対応を内包する地歴公民、地図について、研究員の皆さん、本当にご苦勞様でございます。地図に関わっては、やはり、B 者の歴史を感じる見やすさが非常に感じ取られる地図であることを一番に感じました。最初の地図帳の活用の仕方の解説、これに尽きるなと感じました。

会 長 委員 6	□ありがとうございます。委員 6。 □パッと見た時には、A 者の方が、先ほどご意見で言われたように、色合いとか写真もいような感じがして、自分が使うのであればと思った時には私も A 者かなと思ったんですけど、大差はないとは思いますが、イラストもとても綺麗だし夢があったりするんですけど、写真というのは実物なので、一番近い出版のところで一番近い写真を使われるということは、一番大事なかなと思います。
会 長 研究員	□ありがとうございます。研究員、いかがでしょうか。 □パッと見たところってということで、明るさであるとか、あるいは写真ということはほぼほぼ甲乙つけ難い、あるいは A 者の方がわかるかなっていうようなところもあるかとは思いますが、使っていく中で、先ほど申しましたように、やはり着眼点である、深い学びをしていく、あるいは、主体的対話的な学びをしていくというところで、B 者を選ばせていただきました。大きく大差はないかもしれませんが、着眼点の一番大事なところをもって決めたというところです。
会 長 委員 7	□ありがとうございました。その他、よろしかったでしょうか。はい。委員 7。 □馴染みがあるというか、今後、実際に社会に出た時に、多く見る地図って、こっこの雰囲気の方があるので、見慣れているので、A 者の方が幼く見えるというか、情報が多すぎてごちゃごちゃして見にくい。長く、地図を見る目を養うには、B 者が安定しているのかなと思います。
会 長 委員 8	□その他どうですか。委員 8。 □A 者の表面に合掌集落が載っている。しかも、A 者の日本の伝統文化のところに、やはり白川郷の写真が載っている。それに比べ B 者にはない。でもやっぱり地図は両方とも見やすいので、もうその B 者でいいです。ただ、A 者の場合、合掌造りが載っている。これを言いたかったんだけど、写真をとって話された。 私は先ほどからずっと白川郷の写真を探しているんだけど、先ほど選んでもらった地理は、和田家の当主さんの話も入っていて、やっぱり最初に言われた通り、子どもたちの目線ですと考えると、教科書に自分の地元が載っている、これは素晴らしいことだと思って、やっぱり自分のところを誇りに思う、小さなところだけど、気持ちを持ってもらいたいなと思います。
会 長	□貴重なご意見をありがとうございました。 □それでは、承認にうつります。地図においては、研究員の調査報告どおり、B 者の帝国書院を教科用図書を飛騨地区採択協議会の採択案とすることに承認いただける方は挙手をお願いします。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございました。それでは、地図は B 者（帝国書院）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □それでは、技術分野の調査研究結果について報告に移ります。
技術 研究員代表	◇報告 技術・家庭科の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた A 者（東京書籍）と C 者（開隆堂）の調査結果を説明。
会 長	□ではただいま、技術分野について調査研究結果の報告をしていただきました。委員

委員 1	の皆様、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。はい。委員 1。 □飛騨地区の生徒の実態として、文化的あるいは生活文化に触れる機会が多いんだけど、個人差が大きく、生活経験が少ない生徒がいるということを教えていただきました。そういったところを課題ととらえたときに、生活経験の違いを解消していくような点について、何か比較検討された部分がありましたら教えてください。
研究員	□ありがとうございます。なかなかそういった実践ができないというところを、教科書でも、クリアできないかということで、それぞれの教科書に、家庭でやってみようとか、考えてみようというところがあります。例えばですけれども、A 者というと、問題解決例というのは幾つもありまして、72 ページがそうなんですけれども、問題を見つけて、課題を設定して、自分で何かを作ってみる。こういう、問題解決例をそれぞれの内容にちりばめてあります。ですので、自宅でこういったことも考えて実践できるというというのが、授業を通しながら示すことができると思います。
会 長	□ありがとうございます。委員 2。
委員 2	□技術科というのは授業数が少ないので、他教科とのやはり関連や系統づけることが非常に必要だと思うところの教科であります。やはり A 者の方は、小中学校との関連は両者あるんですけれども、専門性というところでいくと、発展性は非常に A 者の方があったと思いますし、先ほどそういう報告もありましたが、これ、間違いないですね。
研究員	□ありがとうございます。中学校の関連だけではなくて、小学校の関連、また世界基準とか、国際基準、いろんなところにも発展できるようになっています。これ電気の回路のところですけども、電気以外にもいろんなところに、そういった箇所が設けてありました。
会 長	□ありがとうございます。その他、よろしかったでしょうか。はい。委員 3。
委員 3	□子ども目線とは全く逆なんですけども、教員目線でという時に、実際飛騨地区の専門の先生は少ないんですね。その時に、A 者の教科書を見ると、ガイダンスのページが非常に細かく、23 ページあって、丁寧に説明されています。これは子どもたちもそうなんですけど、教える側にとっても非常にありがたい提示だなということを感じました。そういう点で言うと、A 者の方が、教員にとっても子どもたちにとっても、いい学びにつながるんじゃないかなと思いました。
会 長	□ありがとうございます。それでは時間となりましたので、承認に移ります。 □今の技術分野においては、研究員の調査研究報告の通り、A 者の東京書籍の教科用図書を飛騨地区採択協議会として、選定することに承認いただける方は挙手をお願いいたします。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございます。それでは全員に承認いただきましたので、技術分野は、A 者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定いたします。 □では続きまして、家庭分野の調査研究報告についてお願いします。
家庭 研究員代表	◇報告 技術・家庭科の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。

	その後評価の高かった A 者（東京書籍）、C 者（開隆堂）について詳しく説明。
会 長	□ありがとうございました。ただいま、家庭分野について調査研究報告がありました。委員の皆様何かご質問ご意見はございませんでしょうか。委員 1。
委員 1	□私も技術家庭専門ではありませんが、家で料理をします。本を読むよりも、全部スマホで動画を見ながらの方があつという間でございます。言われた通り、デジタルコンテンツを豊富に揃えることが最も説得力があると思いました。
会 長	□ありがとうございました。他によろしかったでしょうか。委員 2。
委員 2	□献立を作って調理をしていった最後に盛り付けるところがあつて、献立を見て調理する場合の手順例というところが載っているんですけども、それがそれぞれのメニューについていて、出来上がりが一緒になるようにという時間が区切って載っているのがとてもわかりやすく、大人としても参考になる箇所です。
研究員	□よくわかっていただけたなと。はい。指導要領にもそこは気をつけるようにと載っていますので、そこもすごく意識されて載っています。
会 長	□ありがとうございます。委員 3。
委員 3	□家庭科は本当に生活に直結するとか、将来役に立つ教科なので、子どもたちに意欲的に、積極的に取り組んでほしいなと思っています。
会 長	□同じく、委員 4、いかがでしょうか。
委員 4	□A 者の方が、縫い物も失敗例とかが写真であつて、私も失敗だったんだつて、学びになります。わかりやすいと思います。
会 長	□ありがとうございました。それでは時間となりましたので、選定にうつります。 □今の家庭分野においては、研究員の調査研究報告の通り、A 者の東京書籍の教科用図書を飛騨地区採択協議会として、選定することに承認いただける方は挙手をお願いいたします。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございました。それでは全員に承認いただきましたので、家庭分野は、A 者（東京書籍）の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定いたします。 □では続きまして、数学の調査研究報告についてお願いします。
数学 研究員代表	◇報告 数学の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた A 者（東京書籍）と C 者（学校図書）の調査結果を説明。
会 長	□ありがとうございました。ただいま、数学の調査研究結果の報告をしていただきました。委員の皆様、何かご質問ご意見はございませんでしょうか。委員 1。
委員 1	□質問なんですけども、自らの学びを調整しながら課題解決をしていくということは大事だと思うんですけども、課題の中にも自らの学びを調整する力が弱いということだったので、その調整するっていうのは具体的にどういうことなのかもう少し詳しくご説明いただきたいということと、その上で、3つ目の観点で今の説明はあつたんですけども、自らの学びを調整しながら課題解決をしていくということの具体的なイメージを、取り上げられた 41 ページ等で説明されたと思うんですけど、調整するということについてもう少し詳しく教えていただけると教科書の良さがわかってくると思います。

研究員	□自らの学びを調整するということについてですが、今、学校においては、主体的、とにかく、教師主導の教え込みの授業じゃなく、そして、席に座ったまま前を見つぱなしのそういう授業ではなくて、子どもたちが、自ら学びたい、そういう課題を教師も作ろうと仕組んでおります。自らの学びを調整することについてですが、授業においては、この教師主導の部分を、子どもに任せる部分で徐々に取り入れていますので、そこに、この先生に聞く、友達に聞くということも必要なことでもありますけど、教科書を通して、示されている通り、このものを自分でめくって探す上で、ヒントになって、自分で調整して、解決していく力。また、2次元コードにも、ヒントカードとしてフラッシュカード式でめくってくるものもありますので、そういう部分で教科書は自分の個別最適な学びの中で、使っていけるといいなと思っております。また自己調整の中では、協働的な学びとして、仲間と対話をしながら、こうやって調整しながら、自分の考えが変容してくる、そういうことをねらいながらやっております。
委員 2	□今、調整ってことを何回か繰り返し言われたんですが、調整っていうことを他の言葉に言い換えて説明するとわかりやすく、皆さんに伝わると思います。
研究員	□受け身ではなくて、これを獲得しようとしながら、自分は教科書を見ながら、またはタブレットで、この2次元コードを探ったり、または仲間に求めていったりしながら、自分でこの乗り越えていこうということを、調整ととらえております。
会 長	□ありがとうございました。委員 3。
委員 3	□今繰り返し言葉にされた、学びの個別最適化を保障する学び、あるいは教育の実現ということがずっと言われたことですが、今回の教科書において、特に数学とか英語においては、本当に形として示していただけたと思っているんですが、選択をされた A 者の教科書の二次元コードの存在が、個別の学びを保障する一つの大きなキーになっていると思うんです。ところが今回のご指示では、二次元コードは前提としない教科書の研究のご指示があったというあたりに、少しもどかしさを覚えるというか、そのあと子どもたちが持つ、家庭における環境として、この教科書が生かし切れるかどうか、そのあたりの見解を聞かせてください。
研究員	□二次元コードについては、数学でいうと 7 者とも位置づいております。ただ、A 者は、その個数が圧倒的に多く、全部調べた調査員いますけど、7 者を比べて、本当にこの二次元コードの使いやすさと、生徒に寄り添ったというものは、やはり A 者でした。でも他の 6 者も位置づいております。
委員 3	□実は教科書展示会に行って、自分で二次元コード拾って、そうしたら自分のギガ数を大幅に超えていて、それがやっぱりいわゆる環境のないところで、これを使った場合の、子どもたちが抱える状況で、家庭で整えなければいけない、その難しさを本当に実感したんです。
会 長	□ありがとうございます。何人かのご意見、この二次元コードにありましたので、私もわかります。これはまた、うちの地区の意見として、また、来年以降も、生かせるようにはしていきたいと思えます。こちらもありがとうございます。貴重なご意見でした。委員 4。
委員 4	□着眼点 (1) に関連する質問になるんですけど、ぎふ Web ラーニングとの関連性に

研究員 会 長 委員 5	ついては、特に違いはなかったでしょうか。 ☐ぎふ Web ラーニングは小学校での活用ですので、中学校は活用されておりません。 ☐はい。委員 5 ☐算数、数学は積み上げの学習ですので、中学生になったときに、本来ならどの子も中学校の教科書をちゃんと自分で活用できるだけの、基礎的基本的な技能・知識を身につけさせてあげなきゃいけないなんてことを改めて感じたところです。1年生の教科を見たときに、例えばA者であれば0章っていうところで、算数から数学へと詳しく書いてあったり、目次のところにそれぞれの単元の小学校の振り返りとかを書いてあるので、そういうところは丁寧になっていると思います。願わくは、この二次元コードなんですけど、その小学校の学びのところの基本を、二次元コードでもう一回、中学校の中でも、小学校の学び直しになると、1冊ですべてができるかなということでした。
会 長 委員 6	☐ありがとうございました。委員 6。 ☐生徒と話をしていると、数学ってこの後役立つのとかといった話が出る中で、まさにこの教科書は表紙が数学らしくないというところが、僕は非常に子どもたちに、数学って実は役立つんだよ、買い物で計算するだけとか平均とかそんなことじゃなくて、いろんなことに繋がるってことは、多分これ一番他の教科書会社になところだと思います。着眼点じゃないんですけども、そこが非常にこの教科書は僕はよかったかなと。子どもたちに説得力ある話ができるなという教科書だと僕は思います。以上です。
会 長 委員 7	☐ありがとうございました。委員 7。 ☐飛驒の子は純粹で素直な子なので、算数から数学へ変わるという疑問に対して、このA者の「数学の世界をもとに」という文章が後押ししてくれる内容でこの言葉はいいなと思いました。あと、最後の方にも保護者の皆さんへというフォローをしてくれる教科書だなと思いました。
会 長	☐ありがとうございました。それでは、選定にうつります。 ☐数学においては、研究員の調査研究報告の通り、A者の東京書籍の教科用図書を飛驒地区採択協議会として、選定することに承認いただける方は挙手をお願いいたします。（挙手により全員挙手で承認を確認） ☐ありがとうございました。それでは全員に承認いただきましたので、数学は、A者（東京書籍）の教科用図書を飛驒地区採択協議会として選定いたします。 ☐では続きまして、美術の調査研究報告についてお願いします。
美術 研究員代表	◇報告 美術の目標、飛驒地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後特に評価の高かったA者（開隆堂）とC者（日本文教出版）について詳しく説明。
会 長 委員 1	☐報告は終わりました。ご質疑はございますか。 ☐二者を比べた時に、系統性が一目瞭然なのは、C者かなと感じました。学年間にわたる系統性、または単元の中での系統性が明らかになっており、分かりやすいです

委員 2	し、指導しやすい教科書だと感じます。 □飛騨地区の生徒の実態として、自ら問いや願いをもってというところに課題があるということを教えていただきました。主体的な学びを生み出していくという点から、先ほどお示しいただいたA者の「イメージを伝える形」というところと、C者の「形や色で伝えるシンボルマーク」というところを比較しながら見させてもらったのですが、身近なところから題材の設定がされているところや、いろいろな資料や作品があるという点では同じだなと思いました。しかし、鑑賞の入り口というところで、C者の方は、問いがあるような発問に対して、A者の方は、ざくっと表現を楽しもうというような感じで問われているので、先ほどの飛騨地区の生徒の実態を考えたときに、問いや願いをもってというところを考えると、C者の方がより優れていると感じました。
委員 3	□鑑賞という話題が出ましたので、質問をします。委員のみなさんが言われたように、非常にいろいろな美術作品があって、授業だけでなく、生徒が家に持ち帰って家族と一緒に見るというような生活の中でも、美術に親しむ場として教科書が使えるのがいいなと思いました。そのことも含めてなのですが、それぞれ二者の特徴があると思いますが、鑑賞教材、鑑賞資料の見せ方や取り上げられ方で、C者のこういう点がより工夫されているという点があれば教えてください。
研究員	□ご質問ありがとうございます。今、ご質問の中にもありました通り、鑑賞の時間に教科書の見開きページを使った授業を行うことがあります。例えば、A者の美術1でいいますと26，27ページ、C者でいいますと24，25ページになります。 「風神雷神図屏風」が、どちらの者も左右に配置され、開いたときに画面に大きく作品が示されます。視界から他の情報が排除されて、作品と1対1で向き合う形になっています。C者の方は、3冊構成になっており、見開きのページが24ページからあります。A者の方でも、同じく見開きページが26ページから大きな図版を使ったものがいくつか出てきます。比べると、A者の方が、大型図版の数が多くあるということが特徴です。もう一つ、美術2，3下のC者の方になりますが、24，25ページで、池田学さんの「誕生」という東日本大震災をきっかけに描かれた作品があり、左に全体図、右に拡大図が載っています。そこからさらに開いたときに、「ゲルニカ」の画像が掲載されています。その左には、中学生の平均身長が示されており、子どもたちが実際の大きさ・スケールを実感しやすいようになっています。「ゲルニカ」はA者にも同じように掲載されているのですが、こういった見開きのページではありません。また、中学校では、2年生で見方を広げ、3年生は生活や体験、今世の中で起こっていることなど、社会に目を向ける時です。「ゲルニカ」の戦争ということはよく扱われるのですが、一つ前のページにあった震災も含めて、子どもたちが連続した鑑賞の中で、作品と向き合うことができるような構成になっているということも、大きな特徴になっていると思います。
会 長	□よろしかったでしょうか。
委員 3	□はい。
会 長	□ありがとうございました。承認にうつります。 □美術においては、研究員の調査研究報告のとおり、C者の「日本文教出版」の教科

	用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。(挙手により全員承認を確認) ☐ それでは、美術はC者の「日本文教出版」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 ☐ では次に、理科の調査研究結果について、報告をお願いします。
理科 研究員代表	◇報告 理科の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいたA者（東京書籍）とE者（啓林館）の調査結果を説明。
会 長	☐ 調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1	☐ 今ご説明いただいたように、理科においては、探究の過程をきちんとふんでいくことが非常に重要だと思います。その点で、今、比較してご説明いただいたと思いますが、私も同じ教材のページを比較しながらその点について見させていただきましたが、A者の方が、各探究の過程、例えば、仮説というところや分析・解釈というところが囲われていて、どう学習を進めていくかが、明確で分かりやすいと感じました。E者も過程は示されていますが、教科書を使ったり、実際に観察・実験を行いながら取り組んだりする際に、戻らなくてはいけないということや、どこにポイントがあるかというところに見にくさがあるように感じました。そういう点から、A者の方が優れているなと感じました。
研究員	☐ おっしゃる通りで、単元のここぞという1時間につきましては、A者の方が大量にページを割いて、丁寧に丁寧に説明をしています。今、委員がおっしゃったように、予想があって実験があって結果があって考察があってという一連の流れなのですが、この授業では、例えば考察を大事にするというポイントであれば、考察のところに大きな面積をとっており、軽重が教師にも子どもにもよく分かる構成になっています。
委員 2	☐ 先ほどお話しいただいた他教科で学ぶことというところですね。例えば、A者の1年生の75ページに技術家庭科で学ぶことというところがあるのですが、ここは物質・物体の違いであったりとか、材料のことであったり目に向けるところです。導入、単元の入り口のところでは、73ページの「Before&After」の「学習前に書こう」というところに、生活の中の食器や調理器具など身近なところで、子どもたちが最初にどういう風に目を向けるかというところが示されています。日常生活とか社会とのつながりのところから、どの子も興味をもって食いついてくるようになっています。そういうところから始まって、学習が進む中でも、他教科とのつながりということで、常に生活や社会とのつながりがあり、教科横断的に学んでいく視点を与えられている教科書なんだなと分かります。A者は使いやすいと思います。また、写真や図、グラフが大きくなっていて、子どもが学ぶときに、そこを見て「こういう実験なんだな」とか「こういう方法を使ったらできそうだな」とかそういったことが、パッと開いて見て分かりやすい、すごく焦点化されているなと感じました。

会 長	□よろしかったでしょうか。 □ありがとうございました。それでは、理科においては、研究員の調査研究報告のとおりに、A者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。（挙手で全員承認を確認） □ありがとうございました。それでは、理科はA者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では次に、保健体育の調査研究結果について、報告をお願いします。
保健体育 研究員代表	◇報告 保健体育の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後特に評価の高かったA者（東京書籍）とD者（学研）について詳しく説明。
会 長	□調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1	□飛騨地区の生徒の実態を鑑みていくと、具体的に実例が多く示されているA者の方が、考えやすいという主張がとてもよく分かりました。そういったところがA者の方が優れている点だなと捉えました。ありがとうございました。
委員 2	□今日、私もずっと日常生活とか他教科との関連というところにこだわって、どの教科も聞いています。A者は、「学びに生かそう」ではなく、具体的に「日常生活に生
委員 3	かそう」というところが非常に多くあります。これが子どもたちにとっては、学びをどう活かすかではなく、「この教科は日常生活と直結しているんだよ」というところが非常に分かりやすいと思ひまして、PRポイントになったと思います。ありがとうございました。
研究員	□飛騨地区の子どもたちの弱いところは、心の面で、ストレスに弱いということがありました。二者ともに「一人一人の違い」の説明があつたのですが、明確な違いをもう一度お願いします。 □非常にイラストが多いというところを分かりやすいところとして、A者の方であげさせてもらいましたが、例えば、D者のよさとして、論ずることとして、「お互いを
委員 3	尊重し合いましょう」という主張の方は分かるのですが、先ほど委員の方もおっしゃったように、自分たちでどうにかしようという視点については、A者の方がより強いと調査研究させていただいたところですよ。
委員 4	やはりコンセプトとして、子どもたちが自分でより学んでいける教科書という点でいきますと、「お互い尊重していくことが大事ですよ」という答えを述べているよりも、自分たちでこれを考えていこうという方が、飛騨地区の子どもたちにより力をつけられるのではないかと調査研究させていただきました。
会 長	□わかりました。ありがとうございました。 □どの教科書も文章だけでなく絵で分かりやすくされているので、どれがいいという

	のは困るのですが、発表の中で、A者の方が、分かりやすく考えやすく、よいということがよく分かりました。 ☐ありがとうございました。保健体育においては、研究員の調査研究報告のとおり、A者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。(挙手により全員挙手で承認を確認) ☐ありがとうございました。それでは、保健体育はA者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 ☐では次に、音楽（一般）の調査研究結果について、報告をお願いします。
音楽一般 研究員代表	◇報告 音楽の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づき、A者（教育出版）とB者（教育芸術社）について詳しく説明。
会 長	☐ 調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1	☐ ありがとうございました。今、教科書を見させてもらいながら、本当にICTのQR
研究員	コードの数が違うなということを最初に感じました。きっとカラピアノとかを使うと思うのですが、やはり指導者としては、こういうのがあると非常にやりやすいものなのか、授業について、そのあたりの見解について教えてください。 ☐まず非常にやりやすいです。なぜかという、どの授業でもそうなのですが、同じ曲を練習していても、「ここが難しい」とか「もっとここを練習したいんだけど」「ここは分かっている」というのが個によって違います。こういうものを活用すれば、自分の苦手なところを個人が集中して練習できます。みんな一斉に一つのCDを流
委員 1	して、分かっている子も分からない子もそこを練習するという方法ではなく、個に応じてやれるので、非常に効果的で指導者もやりやすいと思います。
会 長	☐ ありがとうございます。
委員 1	☐ よろしかったですか。
委員 2	☐ はい。
委員 3	☐さっきのお話の中で、コロナ禍の中でリコーダーをさせてあげられなかったという話がありました。音楽だけでなく、全部ですね。コロナの影響があつて、授業の中でも学校の中でも、もう通り過ぎてしまったことなのですが、そういうことがあったんだということが分かりました。教科書とは関係なくて申し訳ないですが、空白の3年という感じがいたしました。私は、どちらがよいというのは思いませんが、写真もすごく多くて、子どもが見開いた時に、すぐに飛び込めるというのを感じました。また、見開きの始めに、時の人が出てくるところで、今の子どもたちが、そういう人を目にするということが大事なことなんだなと思いました。 ☐二つあるのですが、一つは、B者の方の題材の中に「歌い継ごう日本の歌」というのがあります。これは、昔懐かしい歌もあれば、本当に最近聞いた歌もあるということですが、これがあるのとないのとでは何か違うということはあると思いますか。もう

研究員	一つ、こちらは意見なのですが、著作権についても、2・3年の上に、どちらも触れてあります。こういうことはだめだよということと、ついやってしまいがちなことを具体的な事例で、B者に挙げてあります。これは、非常に大事なことだと思いますので、B者の方がこの点では優れているなと思いました。
委員 4	☐ 懐かしい歌というのは、学習指導要領の中に示されており、それに基づいて教科書会社がつくっているということです。今の二つ目の質問については、当然音楽でもやっていきますが、どの教科においても教科書に載っています。当然、教科書だけではなく学活やいろいろな行事で学びます。本校でもちょうど本日、ネットの講習会を外部の人に来ていただいてやっています。そのようなことも含めて全体でやっていくということが必要な時代であると考えております。
委員 5	☐ 音楽の授業ということで、僕らが習った合唱曲も入っているし、今の新しい曲も入っているし、僕らが聞いていた歌謡曲みたいなものも入っているということで、子どもと親と一緒に歌ったりできる内容のものが採用されています。また「音楽で何を歌っているのか」などを聞けて、親子の会話にもつながると感じられました。
会 長	☐ 2・3年上を比べて、目次の次のページに学習マップ・学習内容というのがあって、それを見比べてみました。B者の方は、歌唱・創作・鑑賞が横にあって、縦に思考力・判断力、知識等ありまして、その関わりがすごく分かりやすくて、一目瞭然です。資質能力の3つの柱と学習内容の関係が、学校職員から見ても、こういう風に学んでいくんだなということが分かりやすいです。子どもの視点からすると、B者の2・3年生の上のところに、「オペラに親しむ」があります。48ページ、「アイダ」から始まって、オペラの会場・劇場の様子、そして次のページをめくると、ミュージカルの主な最近見られる「劇団四季」とかそういったものも書いてあります。これは、3年生が多くの学校で、修学旅行で行きますよね。オペラを見たりとか。そういった音楽で学んだことが、修学旅行で見るミュージカルなんだなとつながります。なかなか家庭で連れていくのは難しいことなので、親しみがありませんし、社会や生活とつなげていき、広範囲にわたっていろいろな要素が入っているのが、B者なんだなと思いました。ありがとうございました。
音楽器楽 研究員代表	☐ ありがとうございます。音楽（一般）においては、研究員の調査研究報告のとおり、B者の「教育芸術社」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。（挙手により全員挙手で承認を確認） ☐ ありがとうございます。それでは、音楽（一般）はB者の「教育芸術社」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 ☐ では次に、音楽（器楽）の調査研究結果について、引き続き報告をお願いします。
音楽器楽 研究員代表	☒ 報告 音楽の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づき、A者（教育出版）とB者（教育芸術社）について詳しく説明。
会 長	☐ 調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1	☐ どちらも個別最適な学びというか、個人で器楽、今は琴の例が挙がりましたが、そ

	の中で、B者の方が丁寧に学習の過程を、「こういう風にやっていると弾けるようになるよ」ということが示されていることが分かりました。両方の教科書を見比べてみても、B者の方がより丁寧だなという感じを受けましたので、採択の意図がよく分かりました。
委員 2	□今おっしゃられたように、子どもたちが学習を進める上で、B者の43ページあたりを見るだけで、進められるなということが分かりました。それによって、教師が評価するにもしやすいつくりになっているということが、比べてみるとよく分かるなということを感じております。B者の方が分かりやすかったなと思いました。
委員 3	□感想というか、素朴な意見ですが、器楽の教科書というのを今日知りました。僕らの時はなかったような気がします。あったかもしれませんが、これはどういう風に使うのか。いろいろな楽器も含めて、学校によってはあったりなかったり、数も違うと思うので、これはどういう風に使う教科書なのかを教えてください。
研究員	□分かりました。委員さんの頃はなかったと思うのですが、なかったというのは使っていないとかそういうことではなくて、年度ははっきり言えないのですが、「日本の文化を大事にしよう」ということが、前の学習指導要領の時から入ってきて、「3年
委員 3	間のうちに一つの和楽器は学習しましょう」ということになっています。教科書には、琴や三味線、和太鼓などが載っているのですが、それは各学校の実態や指導者の存在など、いろいろなことによって選択して行うことになっています。そのように日本の楽器は扱います。それからリコーダーも、最近は時間も少ないものですから十分にはやれない部分もあるのですが、リコーダーを主に使って、活用していると理解しています。
委員 4	□ありがとうございました。
委員 5	□とても丁寧な説明でよく分かりました。この教科書でよいと思います。
委員 6	□意見書の記述で、器楽と一般の重さが、5mmで233gと600gと違うので、紙質なのか書き込むからなのか疑問に思いました。
委員 5	□重さについては、器楽は1冊ですので、そういうことでよろしいですか？
研究員	□厚みが5mmで同じものを持ち比べたら差がないように感じるのですが、3倍も違うので。数字が違うと大丈夫かなと。3冊分ということですかね。3冊でと書かないとだめですね。
会 長	□一般は3冊あるもので、その合計で600gです。一つはだいたい200gです。誤解を生むということが分かりましたので、3冊合計と訂正し、意見書を修正します。 □よろしかったでしょうか。それでは承認にうつります。 □ありがとうございました。音楽（器楽）においては、研究員の調査研究報告のとおり、B者の「教育芸術社」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございました。それでは、音楽（器楽）はB者の「教育芸術社」の教科

	用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では次に、英語の調査研究結果について、報告をお願いします。
英語 研究員代表	◇報告 英語の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後特に評価の高かったA者（東京書籍）とF者（啓林館）について詳しく説明。
会 長	□調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1	□英語はつみ重ねで、分からなくなると大変です。小学校から中学校まで課題が多いと思うのですが、その対策がとられていて、それぞれの段階でどこで戻ればいいのかということが捉えられているなと思います。また、生活に根付いていることや現代の社会問題とかを取り上げている点など内容もしっかりあるんですけど、写真や図やイラストがあることはもちろん、スモールステップで表もあったりして大変分かりやすいなと思いました。どちらもちなみに白川郷の写真と文が載っておりましてね。
委員 2	□本当によく分かる説明がされていました。おそらくA者が候補になることは予想でき、なおかつ小学校で採択されているF者と2者を比べてくださった内容だったので、説得力がありました。先ほども別の教科で話をしたのですが、本当に自分で個別の学びができてしまうんですね。なんてすごいだろうと。自分がバーコードを読みながら教室でスピーカーで発していたあの時代はなんだったんだと思うくらいで
研究員 会 長	す。すごく教える側にとってもやりやすいことが、実感できました。 □ありがとうございます。 □ありがとうございました。それでは、英語においては、研究員の調査研究報告のとおりに、A者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。（挙手により全員挙手で承認を確認） □ありがとうございました。それでは、英語はA者の「東京書籍」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。 □では次に、道徳の調査研究結果について、報告をお願いします。
道徳 研究員代表	◇報告 生活の目標、飛騨地区の児童の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、重視した着眼点、意見書に基づいた全教科用図書の調査結果を説明。 その後特に評価の高かったD者（日本文教出版）とE者（学研）について詳しく説明。
会 長	□調査研究結果の報告をしていただきましたが、委員の皆様、何かご質問やご意見はありませんか。
委員 1 研究員	□道徳科にいたった経緯として、いじめや情報モラル、そして生命の尊さという面で、両者とも同等レベルで掲載されていることを調べていただきありがとうございました。よく分かりました。それを受けて、E者の方では、例えばいじめの単元が終

会 長 研究員 会 長	わったら、クローズアップというように、さらに深める章を設けております。そういったところで、考えさせて議論させていくことの経緯がよく伝わってきました。ありがとうございました。 □では、私の方からよろしいでしょうか。考え議論する道徳をやる場合は、やはり教材構成が大切です。道徳の資料の最初には、自分・主人公の醜さ弱さがあり、中に、新たな他者・仲間から気づかなかった価値が入ってきます。この構成がないと、考え議論する道徳にはなりません。やはり学研はその点では多くの資料が、最初は主人公の醜さ弱さ、中に新しい価値・気づかなかった価値が入ってくる、そういう構成になっていましたか。 □はい。先ほど紹介しましたE者の3年生26ページ「アップロードダウンロード」では、著作権のことで、使用については問題があるという内容です。一方でいうと「これは問題じゃないか」という考えではあるのですが、その次の「クローズアップ」においては、「こういうことで活躍しています」というような有益に使うことができるという文章になっています。そこで違う角度からきているので、そういう意味合いでいうと、ここを見ると、悪いことがばかりではなく上手に使えばいいんだなというところまで、価値が広がります。D者でもそういうところは多いのですが、今の1年生66ページ「使ってもだいじょうぶ？」というところでは、「これは大丈夫かな」と思っていて、さらに次のところにいくと、「これは危ないので気を付けましょうね」となります。角度的には同じような感じです。そういう意味でいうと、多面的・多角的というところがE者の方が優れていると感じました。 □わかりました。 □その他、よろしかったでしょうか。 □ありがとうございました。それでは承認にうつります。道徳においては、研究員の調査研究報告のとおり、E者の「学研」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定することに承認いただける方は挙手願います。 (挙手により全員挙手で承認を確認) ありがとうございました。 □それでは、道徳はE者の「学研」の教科用図書を飛騨地区採択協議会として選定します。
会 長	□以上で、令和7年度に飛騨地区の中学校で使用する教科用図書について、飛騨地区採択協議会の選定教科書がまとまりました。 ※実物投影機で選定教科書一覧を提示し読み上げる。 国語：光村図書 書写：光村図書 地理：東京書籍 歴史：東京書籍 公民：東京書籍 地図：帝国書院 数学：東京書籍 理科：東京書籍 音楽一般：教育芸術社 音楽器楽：教育芸術社 美術：日本文教出版 保健体育：東京書籍 技術：東京書籍 家庭：東京書籍 英語：東京書籍 道徳：学研 □よろしかったでしょうか。ありがとうございました。 □続いて学校教育法附則第9条に規定する教科用図書「一般図書選定資料小・中学校〔特別支援学級用〕」(案)について事務局から説明をお願いします。

事務局	□特別支援学級における教科用図書について説明します。 特別支援学級では、学校教育法附則第9条第1項の規定によって、教科書目録に登載されている教科書以外の教科用図書を、児童生徒の障がいの種類・程度、能力・特性等に応じた図書を採択することができます。いわゆる一般図書と言われるものです。各市村に送付されている岐阜県教育委員会において作成された一般図書選定資料を十分に活用し、採択基準の「採択に当たっての留意事項（５）」に基づいて、適正な採択が行われるようにご配慮をお願いします。 岐阜県教育委員会で選定されている一般図書から、それぞれの学校で、子ども達の実態に合ったものを選んでいただくということです。特別支援学級では、通常今の選定教科書を最初に使うことを考えます。次に星本、それも適切ではないと判断される場合に一般図書から各学校で選んでいただくことになります。
会 長	□ただ今の事務局の説明について よろしかったでしょうか。 □ご意見がなければ、ただ今の 事務局の説明をご承認いただける方は挙手をお願いしたい。 （全員挙手で承認を確認）ありがとうございました。 □第１回採択協議会で説明しましたとおり、教科書採択の権限は市町村教育委員会にあります。各市村教育委員会においては、本日決定しました選定結果を尊重していただき、各市村教育委員会にて令和７年度に飛騨地区の小学校と中学校で使用する教科用図書を議決していただくようお願いします。 □各教育委員会での採択の議決と飛騨地区採択協議会への議決報告の期限は８月１日（木）とします。事務の詳細は後ほど事務局より行います。 □予定していた議事は終了しましたが、その他協議することはありますか。 （協議事項なし） □議事が全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局	☐ その他協議事項はございませんので、諸連絡に移ります。 ☐ 公正確保についてお願いします。第1回の協議会でもご説明しましたが、協議会で知り得たことは公正確保のため、会の開催日時、場所、委員名はもちろん、協議会での協議内容についても極秘となっております。そのため、協議会でお知りになられたことは一切口外をなさらないように願います。また、お手元の資料も回収いたしますので、机の上に置いてお帰りください。 ☐ 情報公開についてお願いします。9月1日以降は、開かれた採択を推進するために、飛騨地区採択協議会及び各教育委員会において積極的に情報を公表します。 ☐ 飛騨地区採択協議会からの公表として、9月1日より、高山市のホームページ上に、①飛騨地区採択教科書の一覧、②第1回、第2回協議会の議事録、③意見書、④協議員名、⑤研究員名を載せます。各市村教育委員会のホームページからも、高山市のホームページにリンクをはってください。詳細については後日お伝えします。 ☐ 各市村教育委員会は、9月1日ホームページ上に、①各市村の採択教科書の一覧、②採択理由書、③教育委員会での議決時の議事録を載せてください。 ☐ 情報公開請求があった場合は、協議日程や研究員の皆様のお名前も公開の対象となります。発行者が委員の皆さんに連絡をとってくる可能性もありますが、情報公開の窓口は地区採択協議会と各市村教育委員会です。そのため、委員の皆様におかれましては、9月1日の情報公開以後も、個人的に情報を求められた場合は、お話を差し控えていただく必要があることをご承知おきください。 ☐ ここまでのことについて、会長より補足がありましたらお願いします。
会 長	☐ 市村教育委員会における議決の際には、「採択協議会で決まったから追認する」のではなく、「採択協議会がとりまとめた選定結果を尊重しつつ、全ての教科書の調査研究結果をふまえて、各教育委員会の権限において採択する」ことが必要です。 ☐ ただし、採択についての協議が整わなかった場合においては、第3回目の採択協議会を開催することとなりますので、ご承知おきください。 ☐ 市村教育委員会での議事録の公開について協力をお願いします。
事務局	☐ さきほど、会長からも話がありましたように、各教育委員会での採択の議決報告の期限は8月1日（木）とします詳細については、後日文書をメールにて送信しますので対応ください。 ☐ なお、定例教育委員会での報告に使えるように、選定教科書の一覧、選定の理由、全者の意見書等のデータも同時に送信します。 ☐ 旅費弁償についてお願いします。受付でこれまでの2回の協議会にお越しいただいた旅費を支給させていただきました。ご確認をお願いします。
司 会	☐ 閉会の言葉を採択協議会 副会長 中村好一様、お願いいたします。

副会長	□採択委員の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。 まずもって、今日まで、熱心に研究をしていただきました50人以上の先生方に感謝いたします。また、スムーズな運営をしていただきました高山市教育委員会、研究所のみなさん、ありがとうございました。初めに、中学生になってという話をしましたが、それだけでなく、教える側として、保護者として、いろいろな意見ができました。飛驒の子のために、採択した教科書ですので、学びがより加速することを信じています。
-----	--